

黒姫

生物多様性調査を実施

企業内大学も来月創設

や生物多様性に寄与する製品・サービスの提供などにつなげていきたい考え。来月には、人材育成を目的とした企業内大学制度も始める。

調査・設計サービスは、カーボンフリーコンサルティング(横浜市、中西武志社長)と生態計画研究所(東京都東村山市、小河原孝生社長)に委託。両社は7月27、29日の2日間、本社や施設周辺の生態系調査を行った。

その結果を基に、実際の保全活動を行っていく。将来的には、周辺地域にとどまらず、山砂や碎石場など事業に関連のある地域の保全活動や他組織の支援、FSC認証品などの原料調達、再生碎石の建築材料への利用なども検討していくという。

同社はこれまでも、収集運搬車両におけるアイドリングストップキーホルダーの導入や業界に先駆けてカーボンオフセット付き再生碎石を販売するなど、積極的な地球温暖化対策に取り組んできた。

生物多様性を意識したのは、千葉県内でコ

ンクリート塊から再生碎石を生産する「資源循環推進センター」が開設したことがきっかけという。当時、千葉県が生物多様性戦略を打ち出していたこともあり、「ソーシャルビジネスという考えを知り、許認可をもらった地元に貢献できないかと検討を始めた」(渡辺社長)。

今回の取り組みでは、興味を持った社員に同研究所が主催する研修会などへ参加させるなど、全従業員70人に自主的な参加を呼び掛ける。「社員が楽しみながら率先して取り組むことで、働きがいや企業風土の醸成につながる。継続的に取り組めば、社内外に波及効果が生まれるはず」(同)という。

さらに来月からは、人材育成を目的とした企業内大学制度を始める。全社的には、効率的な配車システムによる生産性の向上やコスト削減などを進めている。「企業戦略と人材育成は両輪。まずは社員に考える場を提供することが目的。そこで事業の方向性を理解してもらいながら、提案できる人材づくりを目指したい」(同)と語る。

NTTドコエ

NTTドコモとFMラジオ局のJ-WAVEによるイベント「DOCOMO CONCERT×J-WAVE GROW GREEN PROJECT」が9月4日、東京・六本木ヒルズアリーナで開催され、不要になった携帯電話の回収や環境に配慮した商品などが紹介された。イベントには延べ5000人が来場

持田香織さんら出演



木質ペレット製

アール・ケ

来年4月

リケングループの「アール・ケイ・イー」(新潟県柏崎市、戸田幸生社長)は木質ペレット製造事業に産業団地ティアパ、工場を建設